



小田小だより

平成30年7月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号

TEL 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校

体験学習での学び ～活動の中で成長した宿泊体験学習～

校長 村上 裕江

梅雨空に正門前のアジサイの大輪がひときわ映える季節となりました。保護者、地域の皆様には、梅雨の季節ではありますが、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

6月23日の土曜参観には、たくさんの保護者の皆様がご来校くださり、ありがとうございました。各クラス、学年の様子をご覧いただき、昨年度からの、また4月からの成長なども感じていただけたことと存じます。今年度、「みんなで夢中になって学ぶ楽しさを小田小学校で味わおう」というスローガンのもと、学校説明会でも説明申し上げたように「学び合い」と「コミュニケーション能力の育成」を学校経営方針の2つの柱としております。コミュニケーション能力の育成は、小田中学校ブロックの9年間で育てる子ども也像「コミュニケーションを通して社会や自分の未来を創造しようとする子ども」を目指して、小学校段階でできることを実践しているところです。その一つが学校行事を通じた実践です。

体験学習や、校外学習は子どもたちにとって、「夢中になって」計画し、活動する最たるものです。活動する中で、解決する必要に迫られて、下調べをし、相談し、調整し、計画し、実践し、反省する経験を積み重ねます。4年生の時は、教師の指示がないと、その時、その場に、ふさわしい行動がなかなかできなかった子どもたちも、6年生になると、急な予定変更にも柔軟に受け入れられるようになります。お互いに話をする、聞き合う、伝える、励まし合う、喜び合う、という活動の中で「コミュニケーションをとる」大切さを学んでいくのです。

6月には、4年生が「上郷宿泊体験学習」、そして5年生が「三浦宿泊体験学習」を行い、今年度の宿泊体験学習は11月の個別支援学級の宿泊体験学習を残すのみとなりました。5月の「安塚宿泊体験学習」で、6年生は「感謝」ということを学びました。安塚で出会った方々とコミュニケーションをとる中で得た貴重な体験。その体験を通して一人ひとりが抱いた「感謝」の思いを、どのように表していくかをいろいろな場面で考えています。

4年生は、「自分たちも、初めての宿泊体験学習ができた。」という達成感が大きく、「みんなで活動する楽しさ」を来年上郷に行く3年生に伝えたい、などと計画しているクラスもあります。伝える活動をする中で、コミュニケーションの基本を学んでいくことでしょう。その学びは、5年、6年と続く宿泊体験学習へつながっていきます。

5年生は、「自分たちで考え、実行できる自信」をつけました。4月の校外学習の時に、集団でのマナーや自主的な行動が十分にできていなかったことを省みて、今回の宿泊体験学習では、自分たちで声を掛け合って、できるようになろうとしていました。その積み重ねの成果が今回の宿泊体験学習の活動でよく表れていました。お互いによく協力し楽しみながらも、集団の規律が守られ自主性も生かされていました。たてわり活動などでの5年生の今後の活躍が楽しみです。

体験学習という実践の中で学んだことは、学校の日常でも少しずつ生かされていきます。一つひとつの歩みは小さいですが、日々、繰り返すことで身につけていきます。7月25日から始まる夏季休業中、子どもたちは普段の学校生活とは異なる体験をたくさんするでしょう。そこで学んだ力は、学校で学ぶ以上の何かを子どもたちに与えてくれることと思います。素敵な夏休みになりますことを願っています。